



新任職員（医師・看護部長）の御挨拶

平成28年4月、宮津武田病院に赴任しました。島根県松江市の出身で、今までは隠岐の島にある隠岐病院で勤務していました。

当院では一般内科、透析などを担当させて頂き、微力ながら宮津の地域医療に貢献できたと考えています。

また、診療の傍ら京都の歴史や文化に触れたいと思い、楽しみにしています。よろしくお願いします。



（医師：坂野 勉）

陽春の候 皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より宮津武田病院の理念にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、私こと、4月1日付にて宮津武田病院 看護部長として着任しました坪木由美と申します。

宮津武田病院では、全職員が一丸となり地域住民の方たちが安心・安全に治療が受けられるように質向上をめざし、その結果平成27年2月には日本医療機能評価機構の認定病院となりました。

私たち看護部もより一層質向上をめざし、人材育成に努め看護体制を整えています。質の高い医療を提供していくためには、常に看護職員のスキルアップを図らなければなりません。

看護部教育委員会では、看護の基本と医療者にふさわしいスキルを育成するために、クリニカルラダーを導入し、それに則った研修を企画しています。

また、看護職員を育成するため、学研メディカルサポートeラーニングを取り入れる等して、看護職員個々の能力向上を図る等の支援も行っています。



近年チーム医療における看護職の役割は増大し、看護職員一人一人が各部門と積極的に関わり活躍することが、患者さま中心の医療に繋がると考え、能動的に取り組んでいます。

これからも患者さまに選んでいただける病院となるよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

（看護部長：坪木 由美）

膝痛についてのお話し

ある程度の年齢になると、階段やスロープを降りるとき、傾斜のある道路端を歩いている時など膝が「ぎくっ」となって、痛みを感じた事はありませんか？腰と同じように、立って歩く人間は膝関節にも多大な負荷がかかっています。若い時は筋力により、関節は守られていますが、筋力が落ちてくると、関節はぐらつきやすく、その表面の軟骨を傷つけることが多くなります。この状態になると、いつもと違う状況で、痛みと共に、軟骨に小さな傷がつきます。



ほとんどの場合、自然に治癒されますが、残念なことに痛みが軽くない方もおられます。体重が多い方や運動量が少ない方に多いです。痛みがいつまでも続いたり、ひどくなったり、腫れることが多くなれば、落ち込まないで、整形外科への受診をお勧めします。

老化は確実にやってきます。整形外科医は、そのことも踏まえて患者さんと一緒に考えてくれます。ぜひご相談してみてください。

整形外科 部長 小柳 博彦

尿漏れ（尿失禁）についてのお話し

尿漏れ（尿失禁）とはどんな病態を言うのでしょうか。みなさんご存じですか？

尿漏れは病気の一つの症状であり、尿漏れを起こす病気はたくさんあって（例えば有名な過活動膀胱や認知症等）その病気によって対処法は全く違うのです。

テレビ等で宣伝している尿失禁治療薬は過活動膀胱による切迫性尿失禁を治してくれるお薬ですが、これは認知症の尿漏れには使えません。寝たきりでオムツを当てている高齢者の尿漏れを治す薬なんてありません。オムツの当て方、使い方も大事な尿漏れ対処法の一つです。



泌尿器科 院長 曾根 淳史

◆診療科目

内科・消化器内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科
泌尿器科（人工透析）・皮膚科・形成外科・人間ドック

◆一般外来 受付時間

午前診：午前8：30～午前11：30

午後診：午後1：30～午後4：30（土曜日は午前のみ）

◆休診日

日曜・祝祭日・土曜日の午後

◆病床数 60床 一般病棟(障害者施設等一般)

〒626-0041 京都府宮津市字鶴賀2059番地の1

病 院 電話：0772-22-2157/FAX：0772-22-1125

地域連携室 電話：0772-22-2221/FAX：0772-22-2229